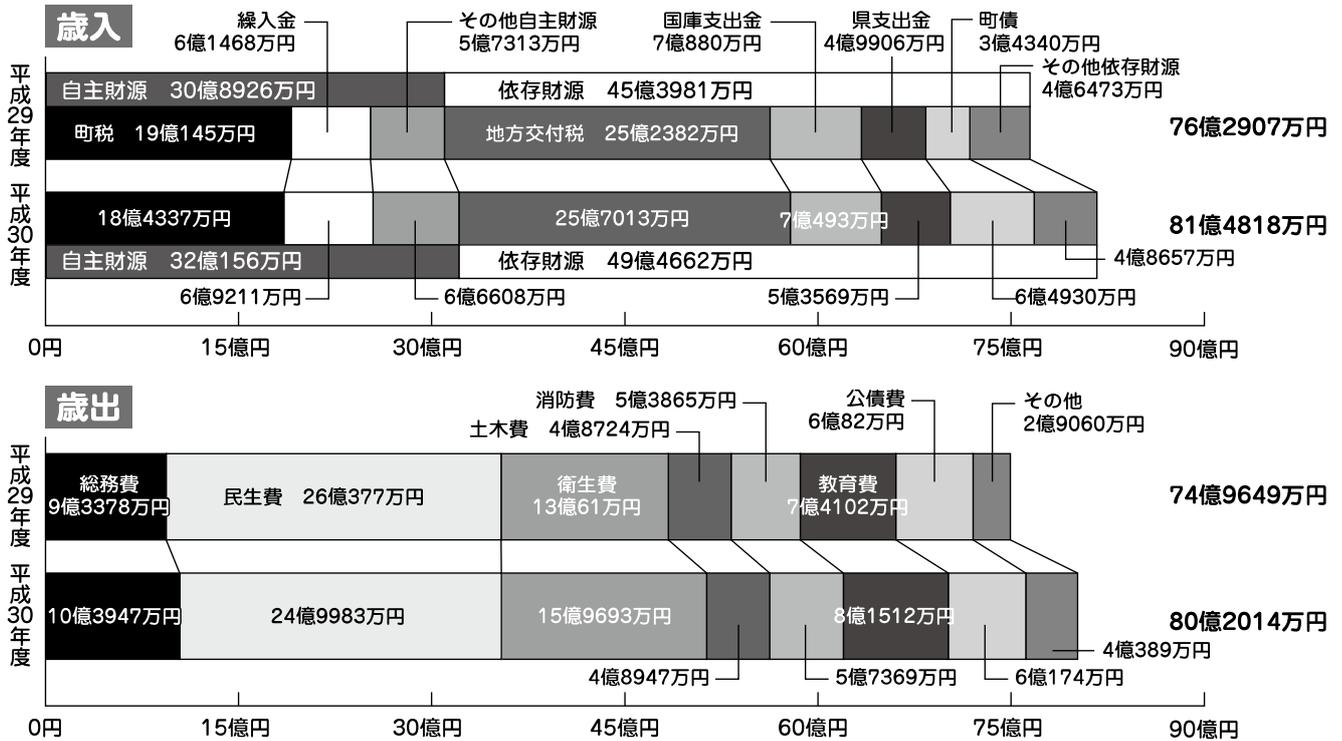


平成30年度 決算報告

平成30年度の決算がまとまりました。
みなさんに納めていただいた町税などで、
どのような事業が行われたかをお知らせします。

一般会計決算額前年度比較



決算の概要

大淀町には、一般会計と6つの特別会計があります。平成30年度は一般会計と特別会計を合算すると、歳入が121億976万円、歳出が119億3565万円となりました。

このうち、一般会計は歳入が81億4818万円、歳出が80億2014万円となり、歳入から歳出を差し引くと1億2804万円の黒字となりました。

この1億2804万円のうち、8049万円を令和元年度に実施する事業の財源として差し引くと、実質的な収支は4755万円の黒字となりました。

歳入の状況

自主財源の合計は32億156万円、平成29年度と比べ1億230万円の増収となりました。主な要因は、ふるさと創生整備基金繰入金および減債基金繰入金の増加により繰入金が増加となったためです。

一方で、自主財源の中心である町税は5808万円の減少となりました。

依存財源の合計は49億4662万円、平成29年度と比べ4億681万円の増加となりました。主な原因は町債が3億590万円、地方交付税が4631万円、県支出金が3663万円の増加となったためです。

町債(町の借金)は、地方交付税の振り替わりである臨時財政対策債や学校空調設備設置事業、安定水利権購入事業などの財源として借入れられました。

基金・町債の現在高

基金の平成30年度末の現在高は37億418万円となり、平成29年度末と比較すると5億576万円の減少となりました。

また、町債の平成30年度末の現在高は64億6746万円となり、平成29年度末と比較すると1億97万円の増加となりました。

財政計画について

厳しい財政状況を踏まえ、財政計画を策定しています。財政計画の内容については、11月号広報でお知らせします。

平成30年度 特別会計			
住宅改修資金等貸付金特別会計	歳入	1068万円	実質収支は416万円の黒字で、翌年度に416万円を繰り越します。
	歳出	652万円	
国民健康保険事業特別会計	歳入	18億3095万円	実質収支は670万円の黒字で国民健康保険財政調整基金に670万円を繰り入れました。
	歳出	18億2425万円	
後期高齢者医療特別会計	歳入	2億1195万円	実質収支は163万円の黒字で、翌年度に163万円を繰り越します。
	歳出	2億1032万円	
介護保険特別会計	歳入	18億237万円	実質収支は3339万円の黒字で、介護保険財政調整基金に3339万円を繰り入れました。
	歳出	17億6898万円	
公園墓地事業特別会計	歳入	255万円	実質収支は8万円の黒字で、翌年度に8万円を繰り越します。
	歳出	247万円	
病院事業清算特別会計	歳入	1億308万円	実質収支は11万円の黒字で、翌年度に11万円を繰り越します。
	歳出	1億297万円	

水道事業会計

収益的収入	5億3596万円
収益的支出	4億7845万円
資本的収入	5億7759万円
資本的支出	6億9527万円

平成30年度末では、7983件(量水器取付件数)、1万7609人に給水を行っています。

建設改良事業では、公共下水道事業に伴う配水管移設工事、下流域内補助管布設替工事、導水管埋設用地整備工事、北野第二配水場低区配水流量計検出器取替工事等を施工しました。

また、農林水産省近畿農政局および奈良県より、大迫ダムおよび津風呂ダムの使用に伴う安定水利権を取得しました。

今後も、経営の効率化と健全化を行い、「安全でおいしい水」の安定供給に努めます。

下水道事業会計

収益的収入	5億8788万円
収益的支出	5億9074万円
資本的収入	3億9584万円
資本的支出	5億9241万円

平成30年度末の大淀町の処理区域内人口は1万5623人、水洗化人口は1万3605人であり、水洗化戸数は5141戸となりました。

建設改良事業では、重点箇所として、北野地内で汚水管更生工事を実施しました。

今後も経営の効率化・健全化を推進し、生活環境の向上、公共用水域の水質改善に努めます。

ふるさと応援寄附の状況について

平成30年度に大淀町ふるさと応援寄附金として総額1156万8000円(189件)の寄附をいただきました。また、これまでの寄附を活用して、幼児専用バスやAEDの購入など15事業を実施させていただきました。ありがとうございました。

平成30年度に行った主な事業と決算額

平成30年度に実施した主な事業

河川等災害復旧事業	1億1785万円
学校空調設備設置事業	1億5万円
コミュニティバス・デマンドタクシー運行事業	4499万円
道路防災対策事業	2981万円
大淀病院跡地・近鉄下市口駅周辺地区まちづくり推進事業	2461万円
ごみ処理施設周辺地区環境整備事業	2437万円
大淀桜ヶ丘小学校ブロック塀等改修事業	1170万円
AED購入事業	673万円
幼児専用バス購入事業	629万円

繰出金等

①南和広域医療企業団	6億1588万円
②奈良県広域消防組合	4億8985万円
③後期高齢者医療特別会計	2億6983万円
④下水道事業会計	2億5249万円
⑤南和広域衛生組合	2億4944万円
⑥介護保険特別会計	2億4198万円
⑦水道事業会計	1億8207万円
⑧国民健康保険事業特別会計	1億3343万円
⑨病院事業清算特別会計	1億290万円
⑩さくら広域環境衛生組合	8424万円

健全化判断比率等

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」による健全化判断比率と資金不足比率は次のとおりです。

厳しい財政状況から比率は毎年上昇しており、平成30年度では将来負担比率がプラスの比率となりました。

健全化判断比率が、「早期健全化基準」、「財政再生基準」を超えると、財政健全化または財政再生計画を策定・公表し、それに従って財政健全化を進めていくこととなります。

	健全化判断比率		早期健全化基準	財政再生基準
	平成29年度	平成30年度		
実質赤字比率	—	—	15%	20%
連結実質比率	—	—	20%	30%
実質公債費比率	7.7%	9.0%	25%	35%
将来負担比率	—	13.5%	350%	—
[参考]	△5.3%	—		

	資金不足比率		経営健全化基準
	平成29年度	平成30年度	
水道事業	—	—	20%
下水道事業	—	—	

※ 該当がない数値については、「—」としています。

地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられた
 社会保障４経費その他社会保障施策に要した経費

（単位：千円）

項 目 名		事 業 費	財 源 内 訳			
			特 定 財 源		一 般 財 源	うち引上げ分 の地方消費税
			国 県 支 出 金	そ の 他		
社 会 福 祉	障 害 者 福 祉	528,932	371,703	4,560	152,669	22,337
	高 齢 者 福 祉	73,177	1,846	15,120	56,211	8,224
	児 童 福 祉	88,139	41,468	20,901	25,770	3,770
	母 子 福 祉	9,306	94	0	9,212	1,348
	小 計	699,554	415,111	40,581	243,862	35,679
社 会 保 険	介 護 保 険	241,975	4,427	0	237,548	34,756
	国 民 健 康 保 険	133,433	93,562	0	39,871	5,833
	後 期 高 齢 者 医 療	269,835	40,888	0	228,947	33,497
	小 計	645,243	138,877	0	506,366	74,086
保 健 衛 生	医 療	98,642	39,885	8,345	50,412	7,376
	疾 病 予 防 対 策	45,334	500	5,099	39,735	5,814
	小 計	143,976	40,385	13,444	90,147	13,190
合 計		1,488,773	594,373	54,025	840,375	122,955